



10月号

編集・発行

熊日多良木販売センター

(代)小出堅太郎 小出忠紹

石田敏郎 尾前竜二 那須信一

球磨郡多良木町大字多良木 356-1

TEL 42-3355

FAX 49-1726

http://www.taragi.com/

当社のホームページ・ブログをご覧ください

全国大会初出場!!

人吉高校放送技術研究部



左:森田里実さん 右:坂本佳苗さん

間の物語です。二人は脚本やカメラ、音声を担当をした先輩のおかげと謙遜していましたが、演技には自信をつけたようでした。今後の目標は、11月に鹿児島県で開催される九州大会出場ですが、まずは県の大会の優勝に向けて、夜遅くまで頑張っておられるようです。

人吉高校放送技術研究部(部員18名)に所属する1年生で多良木中学校出身の、坂本佳苗さんと森田里実さんが、第59回NHK杯全国高校放送コンテスト、創作テレビドラマ部門の県予選で優勝し、7月に行われた全国大会に出場しました。3人で制作した作品名は「友れい」で、友達が喧嘩をしていてそこに幽霊が出てきて仲直りをさせてくれる8分

働くことの大切さや喜びを実感



(優しく整髪している岩見君)

あさぎり中学校の2年生(150人)が今月10日と11日の2日間、町内外の事業所に赴き「職場体験学習」を行いました。実際の職場に入ること、働くことの大変さや喜びを体験したり、大人のプロの皆さんと話をすることで、コミュニケーション力の向上を図るのが目的です。

岡原地区では、JA岡原給油所や福田理容店、ハピストなどで実施されました。その中であさぎり町社会福祉協議会ふれあいデイサービスセンター(管理者:尾形人志さん)にも数名が入りました。お茶出しや入浴後の整髪など、通所利用者の身の回りのお世話を体験しました。また、当日に開催された運動会では、パン食い競走や、仮装しての応援合戦などに参加し、会場を賑わせました。職場体験を通じて岩見地智君は「皆さんとのふれあいの中で、楽しくできたし仲良くなれたのが印象的でした」と感想を語ってくれました。通所利用者の1人である岩見君の曾祖母チヨさんは今年100歳。今回の職場体験を通じて「おばあちゃん孝行」も出来たのではないのでしょうか?

寒気がするくらいドッキ、ドッキ

食べ残しの減少や簡易包装商品・リサイクル製品の購入等の、ごみの減量化に向けた取組を推進する「ごみゼロ九州キャンペーン」が実施されていて、このキャンペーンを九州全域にアピールするために「シンボルマーク」と「標語」が募集されました。その結果、黒肥地小学校四年生の、那須麗海さんが優秀賞に選ばれました。選ばれてから表彰されるまでの気持ちを、麗海さんは「まさか選ばれるとは思ってなかったのでびっくりしました。表彰式の前の日は、楽しみでワクワクして早く寝て、早く起きました。沢山お客さんがいるなかで、一番初めに表彰されたので、間違えずにできるか心配で、寒気がするくらいドキドキしました。一生懸命に標語を考えた甲斐があったな~と思いました」と喜んで話してくれました。



(元気に体操をされている通所利用者の皆さん)

木希記

◆「負けな背中の押し」新聞の東日本大震災の被災者を励ます気持ちで素直に伝わってきまらしては、気が滅入ってしまったりやる気がなくしたりすること。小さい子どもたちは学校でいじめを受けて落ち込んでしまうケースもあるかもしれない◆そんな時に新聞の片隅に載ったあのぼのとした話題がヒントで立ち直ることができるようならうれし限りです。新聞は殺伐とした記事や暗い話題ばかりではないのを、見直していただける方も多いと確信しています◆「もぞか」は本当にかわいい新聞ですけれど、多良木の皆様の身近なニュース、近所の人たちが主人公のミニ情報紙を目指してきました。これからその基本姿勢はしっかり守っていきたく思います◆そこで、腰折れを3句作ってみました。「小粒だがどこもうれしい記事ばかり」「食卓に彩り添えてくれた記事」「ミニだけでも身で勝負するもぞか」。ここまで来ると少々追い過ぎていたりやられそうかな。(X)

世界的作品を知る



10月19日、岡原小学校（校長 森元祐二）体育館にて、スクールミュージアムが開催されました。熊本市の県立美術館と提携され、子供達に本物の美術作品を鑑賞させる機会として、同校で初めて行われました。県立美術館主幹の森本猛さんを招いて、熊本県出身の世界的画家・浜田知明さんの生い立ちや作品の説明があり、生徒達も真剣な眼差しで作品

を鑑賞していました。また午後からは、一般公開も行われ数多くの人達が世界的画家の作品を一目見ようと、足を運ばれていました。同小学校6年生の福田虎太郎くんは「実際に作品を観て、作品の中から悲しさや迷いなどの気持ちが表れていて、すごい作品だと思いました」と大人顔負けの感想を述べてくれました。本物の作品に触れる体験をすることで、豊かな感情を育む一助になったのではないのでしょうか。



名曲を鐘の音にのせて



10月5日、多良木町通所介護事業所（代表者 松本照彦）にて、多良木町ハンドベル教室「葉月会」のみなさんによる演奏会が行われました。「葉月会」は多良木町保健センターで月2回程度、認知症予防教室の一環として結成されました。NPO法人・お達者くらぶ連絡協議会理事長 前田美保子さん（多良木町出身 熊本市在住）の指導のもと活動されています。演奏会では「荒城の月」「ふるさと」「さくら」など、数々の名曲をハンドベルを使って披露され、施設利用者の方々も大変喜ばれていました。「葉月会」のメンバーで最高齢の柄原芳子さん（91歳）も「みなさんに楽しんで頂けるように、私たちも楽しんで演奏します」と元気一杯に話されていました。又演奏会のラストには会場からアンコールがおり、利用者の方々と一緒に「ふるさと」を合唱。貴重な1日を過ごされ、施設スタッフの方々も「外部より訪問して頂き、利用者の方々も大変喜ばれ私達も励みになります」心地よく、どこか懐かしさを感じさせるベルの音が響く素敵な1日でした。

あなたにとどけ いっぱい笑顔



球磨支援学校では、10月28日（日）に「くましえん祭」を開催しました。「あなたにとどけ いっぱい笑顔」のスローガンのもと、児童生徒は笑



顔満開で、小学部の「かいぞくランドで遊ぼう」での遊びや、中学部・高等部での作業製品の販売に取り組みました。たくさんのお客様に御来場いただき、大盛況の楽しい一日となりました。地域の皆さん、ありがとうございました。



多良木警察署だより



振り込め詐欺は被害者の心理を巧みに悪用した犯罪で、誰もが被害者になる可能性があります

被害にあう前に
生活の不便にならない程度で
ATMの利用限度額を引き下げ
あなたの大切な財産を守りましょう

振り込め詐欺 1件あたりの被害額は約160万円

利用限度額の引下げ方法は各金融機関にお問い合わせ下さい

熊本県警多良木警察署 ☎ 0966-42-4110

（原稿提供・多良木警察署）

自慢のこえを発表



10月20日～21日の2日間、えびす祭りが恵比須神社境内と、えびすふれあい祭り会場の2会場で開催されました。初日は多良木中学校吹奏楽部演奏や球磨拳世界大会などで賑

（熱唱された中原裕次さん）

いました。伍代夏子ショーを目当てに大勢の観客が集まるなか、石倉音楽祭の歴代優勝者3名も自慢ののどを披露しました。